

外国人観光客の日本に対する 喫煙環境意識調査 結果報告書

2015.1.16.

調査企画：週刊ホテルレストラン
協力：JTBグローバルマーケティング&トラベル

調査概要

◆調査目的： 外国人観光客の日本の喫煙環境についての印象や評価を把握

◆調査手法： J T Bグローバルマーケティング&トラベルがツアーに参加した外国人観光客に対してアンケートを実施

◆サンプル数： 計 482S

主な出身国	回収数
アメリカ	78
カナダ	14
オーストラリア	59
中国	87
タイ	21
マレーシア	45
シンガポール	73
フィリピン	20

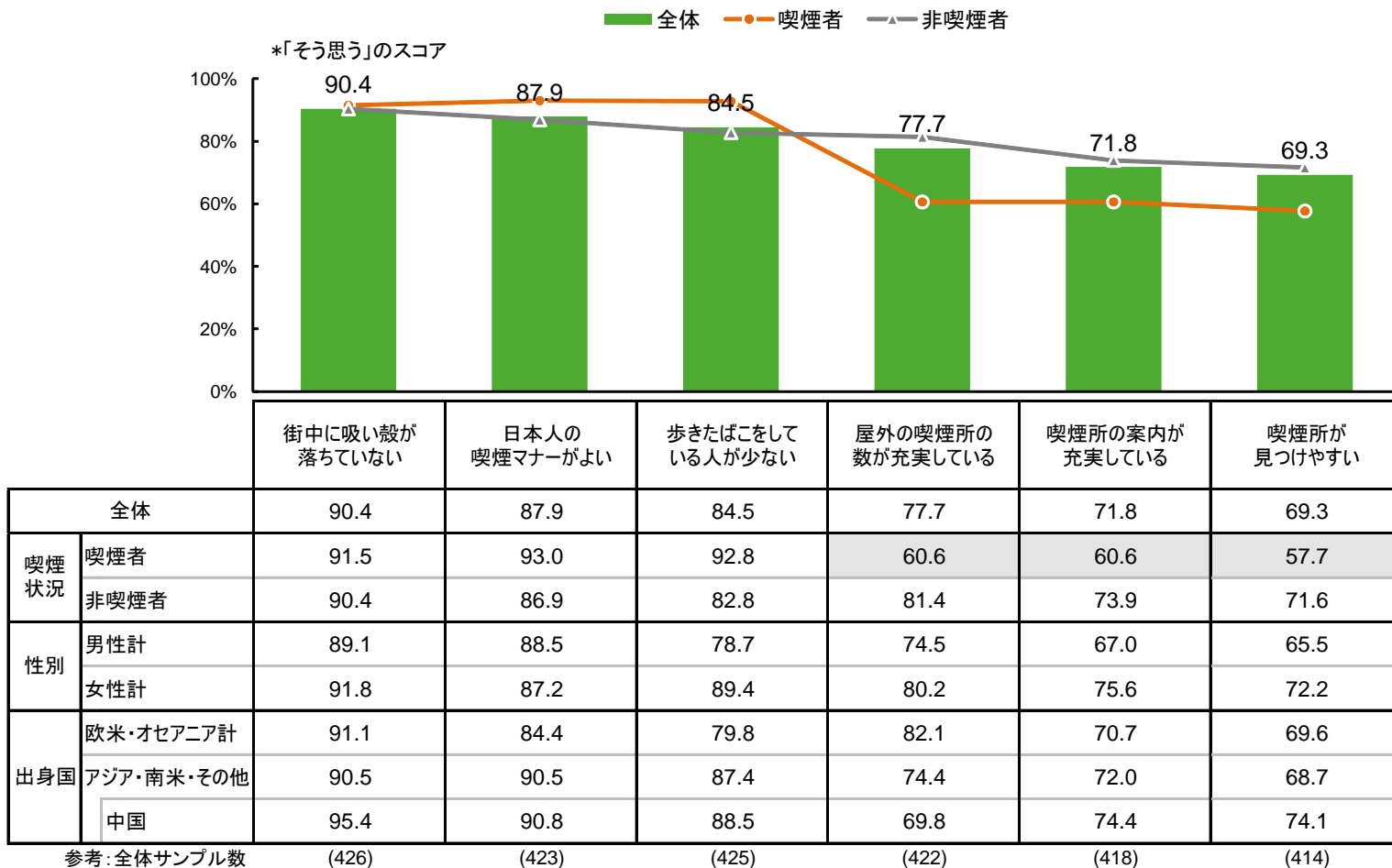
など

◆実施期間： 2014年11月～12月

日本の喫煙環境の印象

- 外国人観光客における日本の喫煙環境の印象はよい。「街中に吸い殻が落ちていない」「日本人の喫煙マナーがよい」「歩きたばこをしている人が少ない」など、喫煙者・非喫煙者の双方から8割以上の評価を得ている。
- 喫煙者ベースでみると、「屋外の喫煙所の数が充実」「喫煙所の案内が充実」「喫煙所が見つけやすい」は6割程度のスコアで、まだ改善の余地が残されている。

Q (全員) 日本の喫煙環境の印象について、それぞれお答えください。



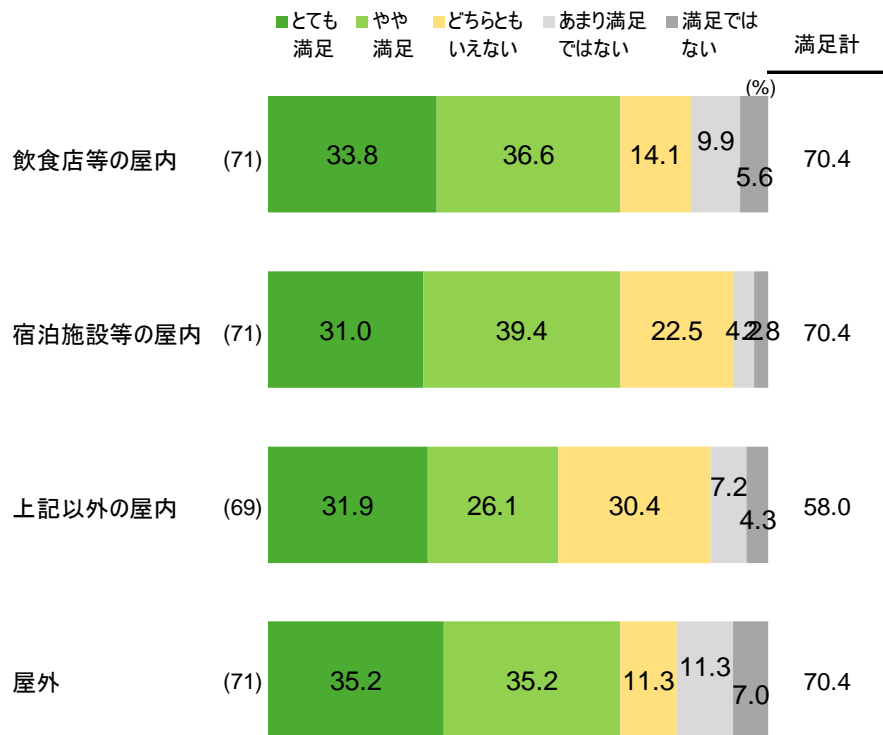
※全体と比較して ■ +20pt.以上 ■ +10pt.以上 ■ -20pt.以下 ■ -10pt.以下 (サンプル数30未満は除く)

日本の喫煙環境満足度

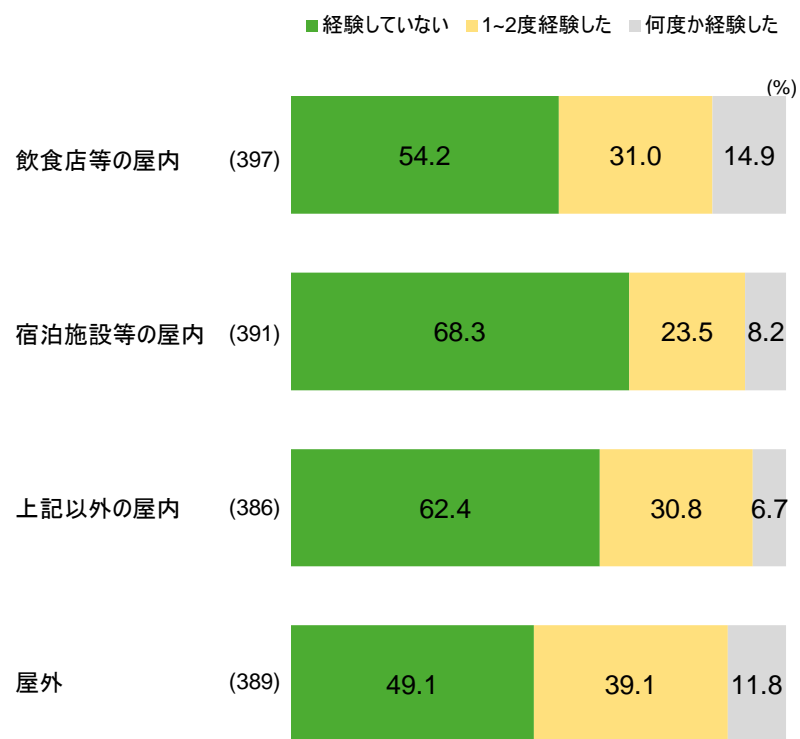
- 外国人観光客の日本の喫煙環境の満足度は、概ね高い。
- 喫煙者では、飲食店・宿泊施設・屋外の満足度は約70%。
- 非喫煙者の『何度か経験した』は、飲食店・屋外で1割強。

Q（喫煙者） あなたは、日本の喫煙環境にどの位満足していますか。／（非喫煙者）あなたは、日本で煙やニオイなどで不快な思いをした経験をしましたか。

◆喫煙者



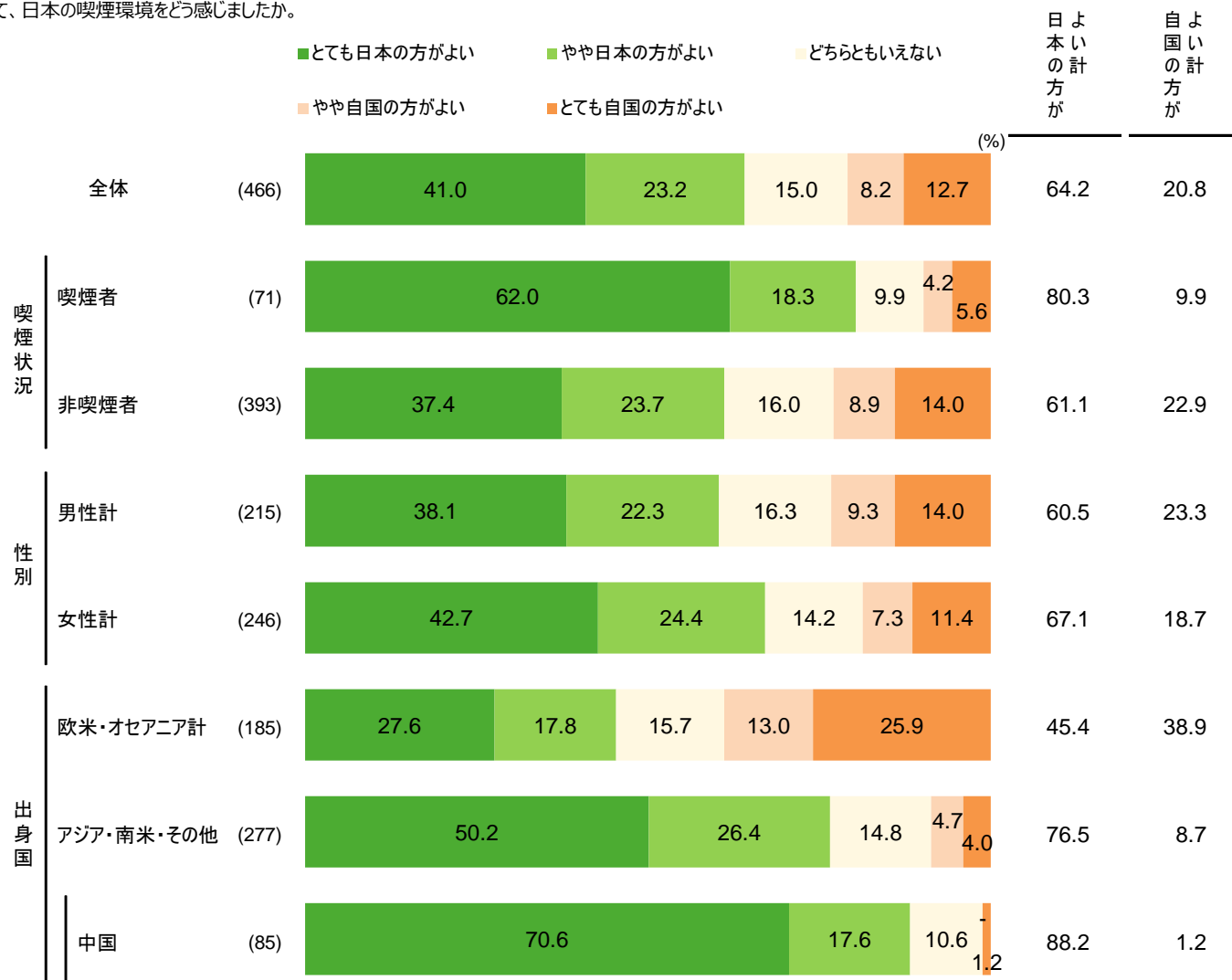
◆非喫煙者



日本と自国の喫煙環境比較

- 全体で、『日本の方がよい計』64%、『自国の方がよい計』21%と、大半が日本の喫煙環境の方がよいとの評価。
- 喫煙者で、80：10、非喫煙者においても、61:23と差があった。出身国別は、欧米・オセアニア計で45：39と差は縮まるが、アジア・南米・その他では、77：9（中国では89：1）と大差があった。

Q（全員） 自国と比べて、日本の喫煙環境をどう感じましたか。

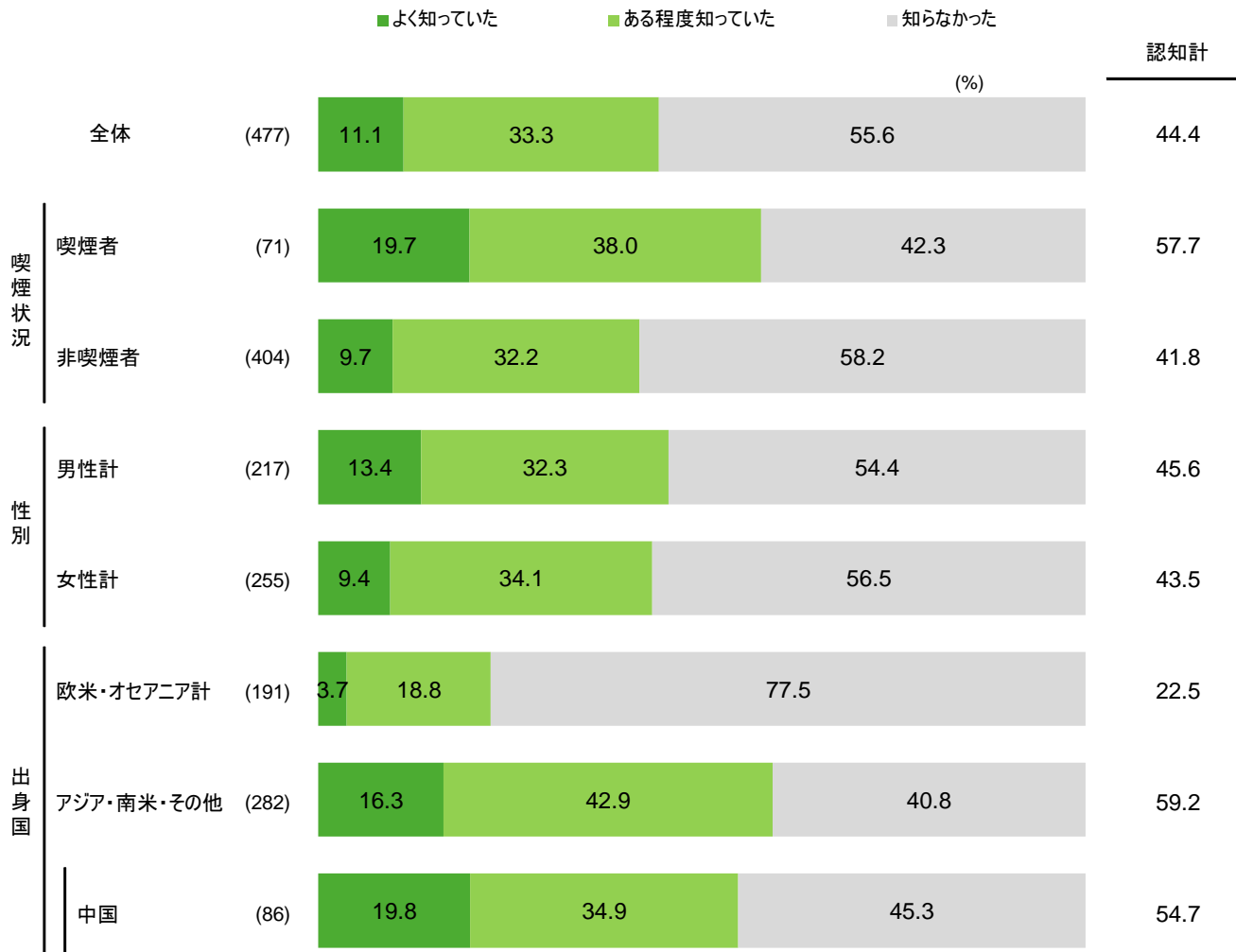


日本の喫煙ルール認知状況（訪日前）

- 全体で「よく知っていた」は11%、『認知計』は44%。喫煙者で6割弱、非喫煙者で4割の認知率。
- 出身国別みると、アジア・南米・その他（59%）に比べ欧米・オセアニア計で23%とかなり低くなっている。

～日本では、屋外において、路上での喫煙を禁止し、指定喫煙場所での喫煙を義務づけるエリアを個別に定めており、飲食店や宿泊施設などの屋内においては、全面喫煙可能な施設、全面禁煙の施設、喫煙エリアと禁煙エリアを設ける施設等、施設管理者が様々な環境を選択することが可能となっています。

Q（全員）あなたは、今回の訪日前に上記のような日本の喫煙ルールをご存じでしたか。

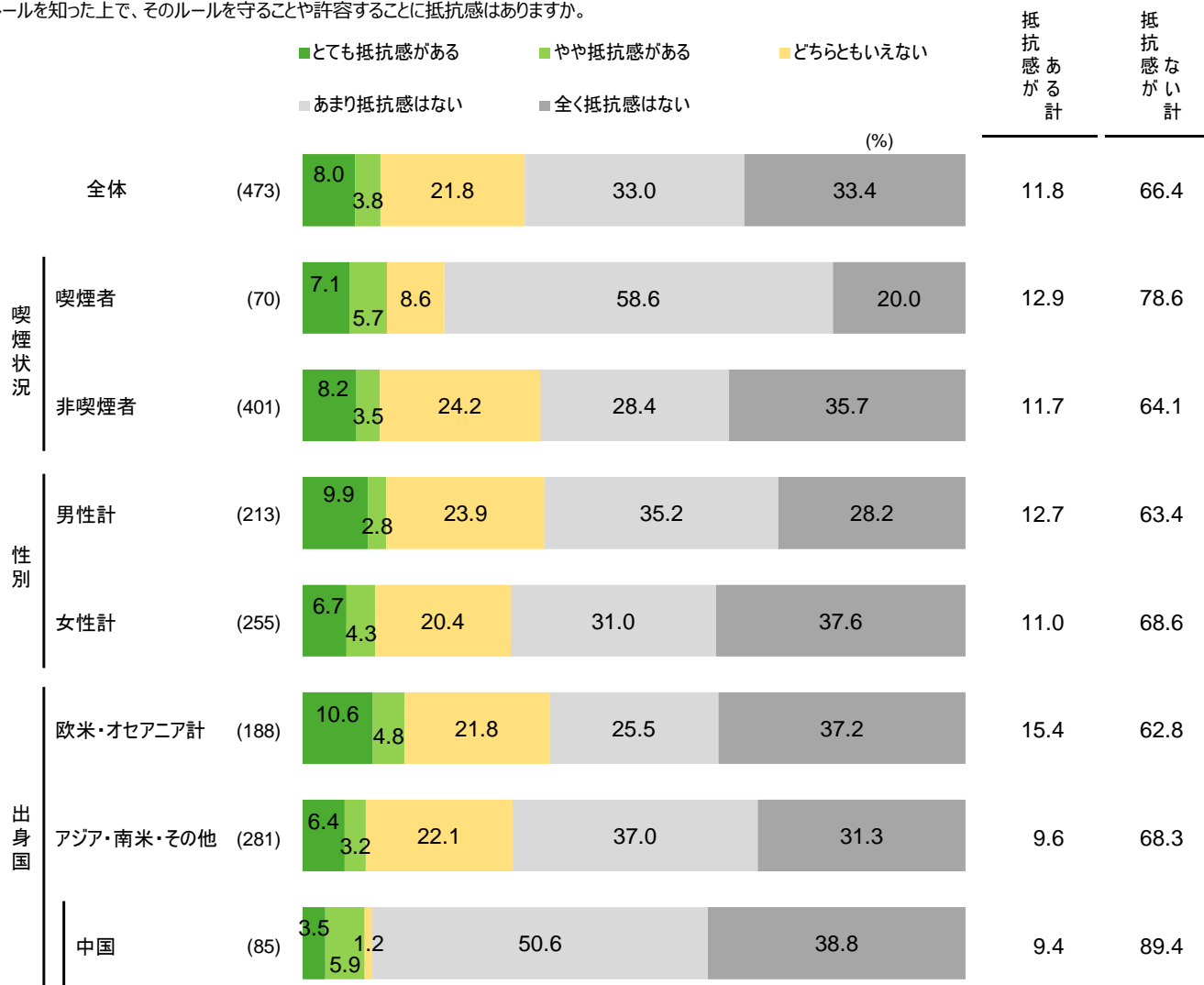


日本の喫煙ルールに対する抵抗感

- 全体で『抵抗がある計』は12%のみ。7割近くの人が『抵抗感がない』と回答。
- 出身国別に見ると、欧米・オセアニア計に比べアジア・南米・その他において、『抵抗感がない計』が若干高い。

～日本では、屋外において、路上での喫煙を禁止し、指定喫煙場所での喫煙を義務づけるエリアを個別に定めており、飲食店や宿泊施設などの屋内においては、全面喫煙可能な施設、全面禁煙の施設、喫煙エリアと禁煙エリアを設ける施設等、施設管理者が様々な環境を選択することが可能となっています。

Q（全員）日本の喫煙ルールを知った上で、そのルールを守ることや許容することに抵抗感がありますか。

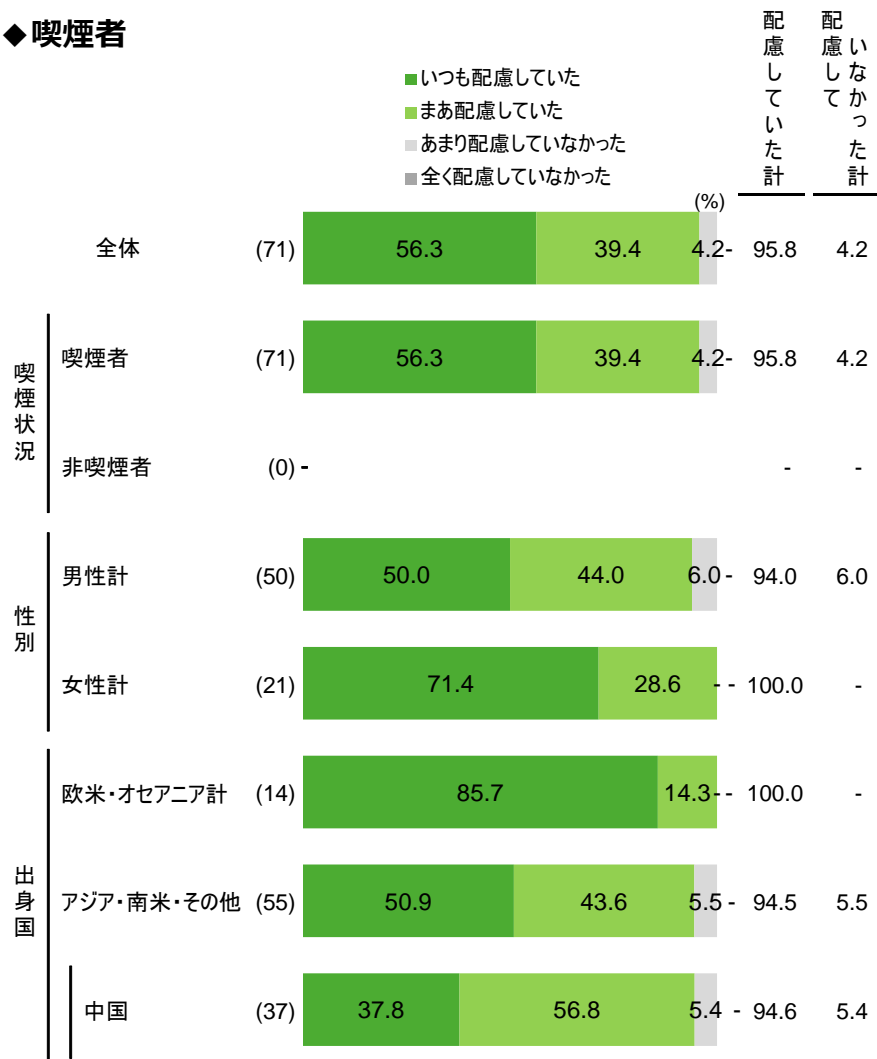


マナー配慮度

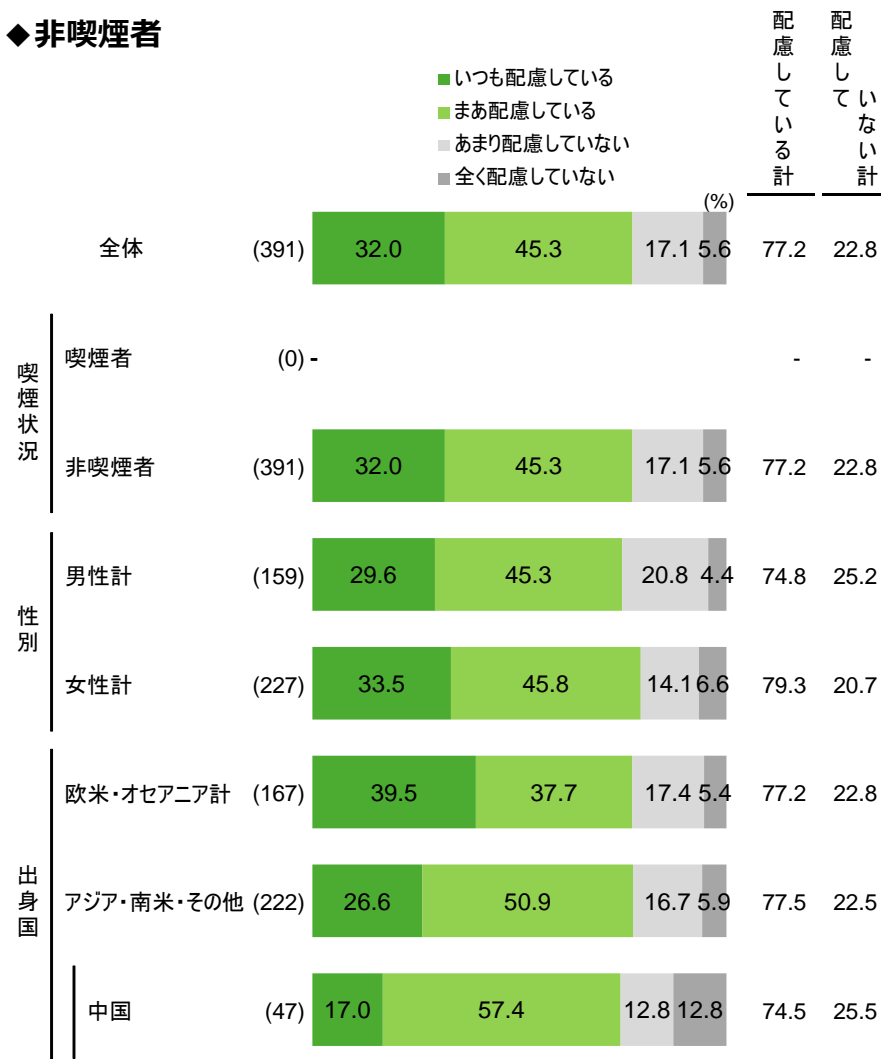
- 喫煙者ベースでは、『配慮していた計』は96%。一方、非喫煙者では77%。
- 男女別、出身国別に大きな傾向差はみられない。

Q (喫煙者) 日本にいる間、ご自身がたばこを吸う時、まわりの人やマナーに配慮してたばこを吸っていましたか。
 (非喫煙者) 日本にいる間、あなたの周囲の喫煙者は、まわりの人やマナーに配慮してたばこを吸っていると思いますか。

◆喫煙者



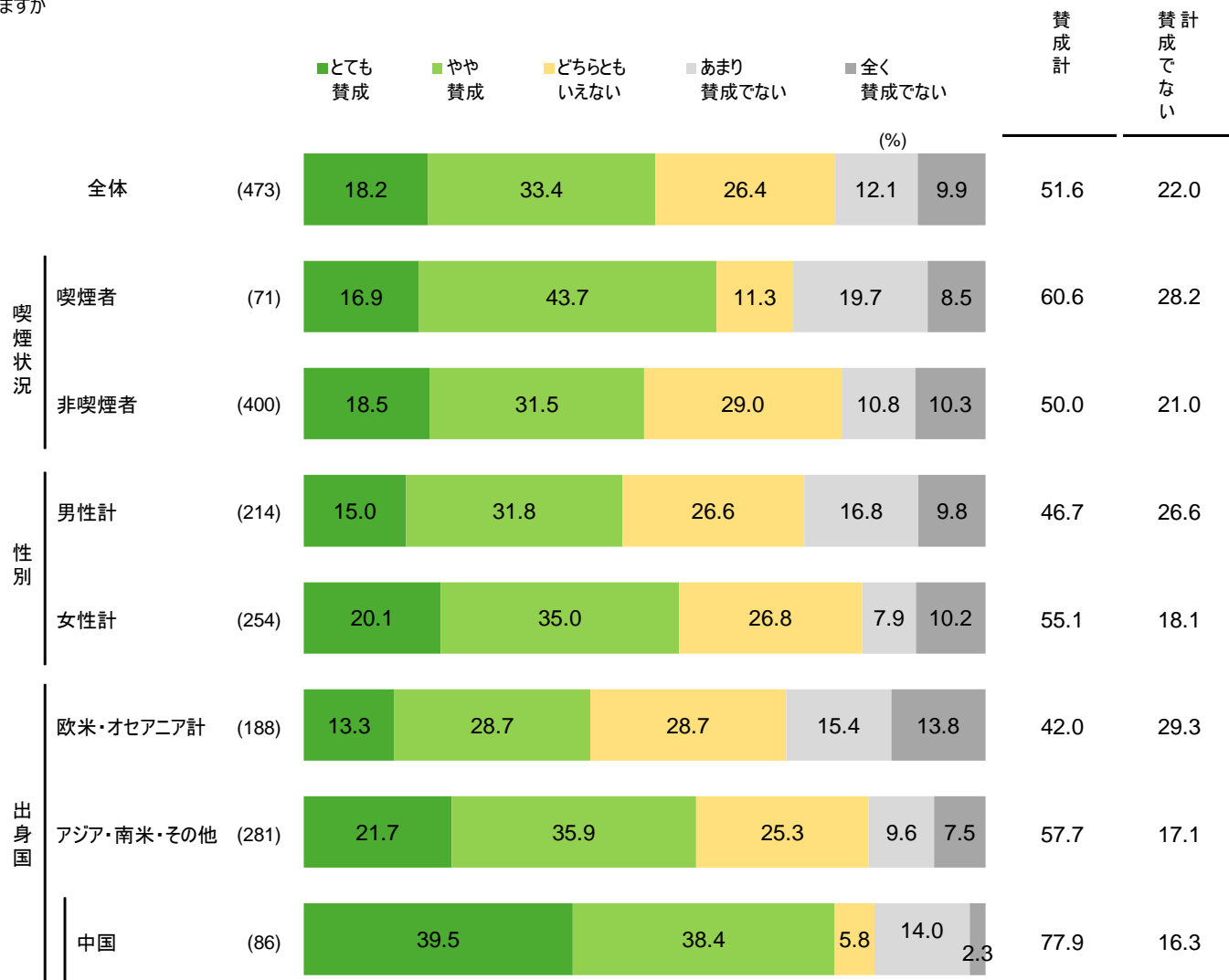
◆非喫煙者



飲食店の分煙賛否度

- 全体で、『賛成計』は52%、『賛成でない計』22%と賛成が多数派。
- 喫煙者では『賛成計』が6割を占める。出身国別で『賛成計』は欧米・オセアニア計でアジア・南米・その他に比べ、低くなっている。

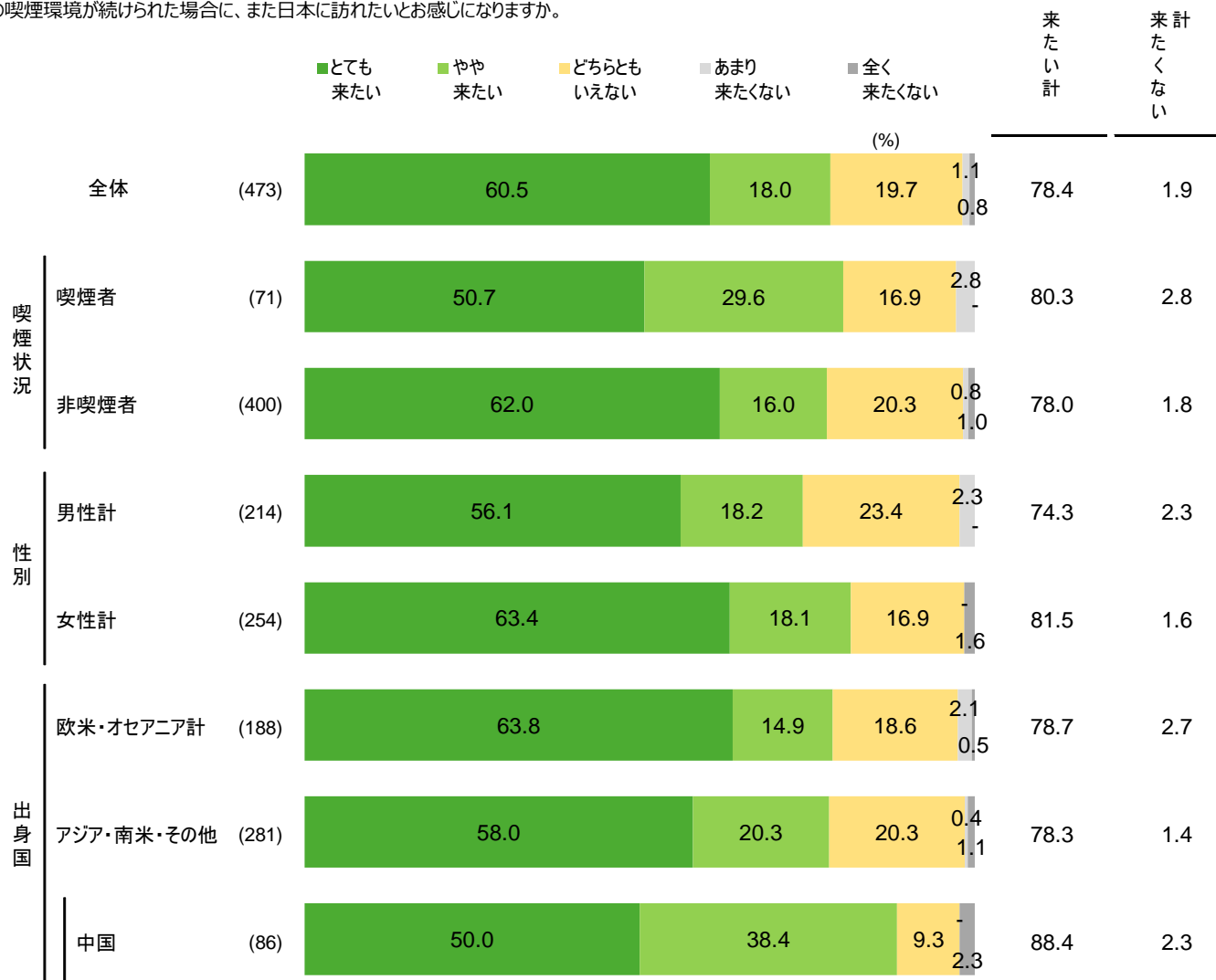
Q (全員) 飲食店等において、「事業者がそれぞれ、喫煙できる店、喫煙できない店、喫煙できる席と喫煙できない席を設けてエリア分けしている店を決め、お客が自分にあった環境の店を選ぶことができる状態」について、どのように感じますか



現喫煙ルールでの再訪日意向

- 現状の喫煙ルールでの再訪日意向は、『来たい計』78%と大多数。『来たくない計』は僅か2%のみ。
- 喫・非喫別にみても、大きな差はみられない。

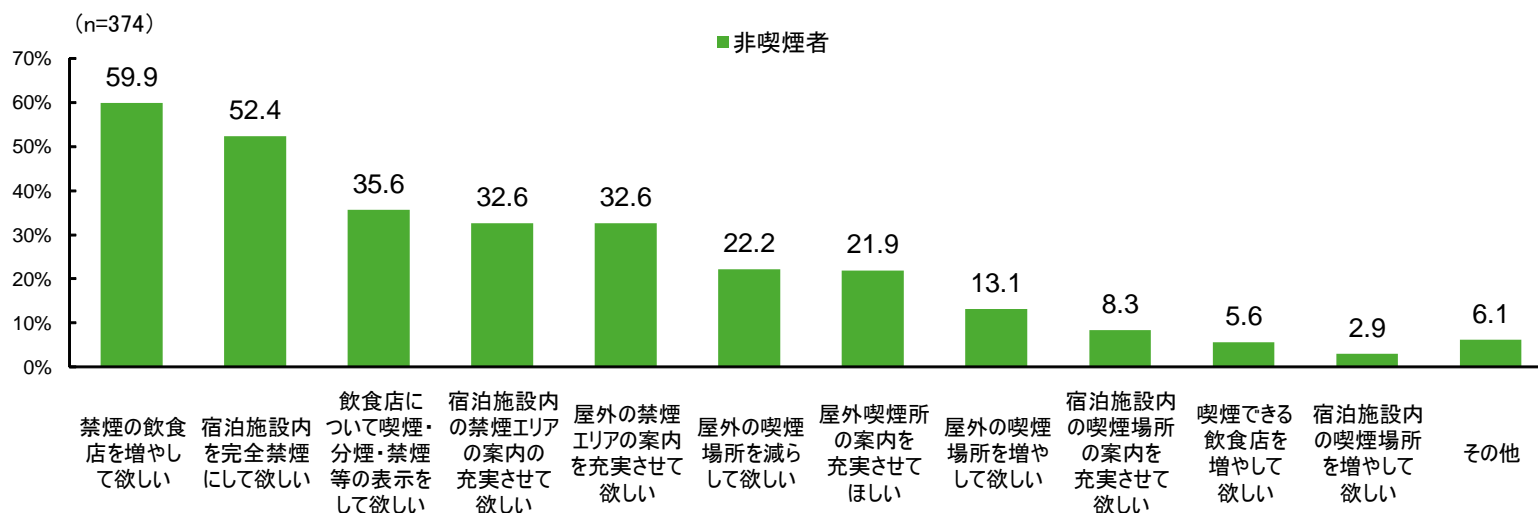
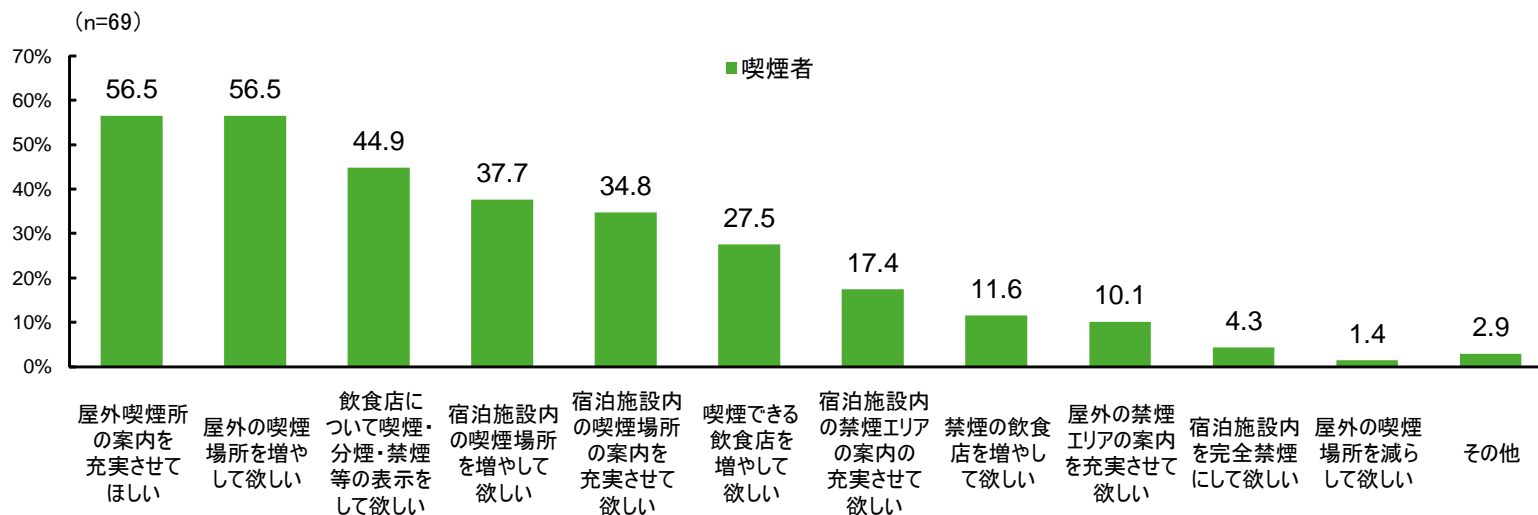
Q (全員) 現在の日本の喫煙環境が続けられた場合に、また日本を訪れたいとお感じになりますか。



日本の喫煙環境改善点

- 非喫煙者で、「飲食店・宿泊施設の禁煙」がTOP2で、「飲食店・宿泊施設での分煙・禁煙の表示の充実」が続いている。
- 喫煙者では、屋外の「喫煙所の案内」「喫煙場所」の充実とあわせて、飲食店・宿泊施設の案内の充実が続く。
- 非喫煙者・喫煙者に共通して案内表示が改善点としてあがっている。

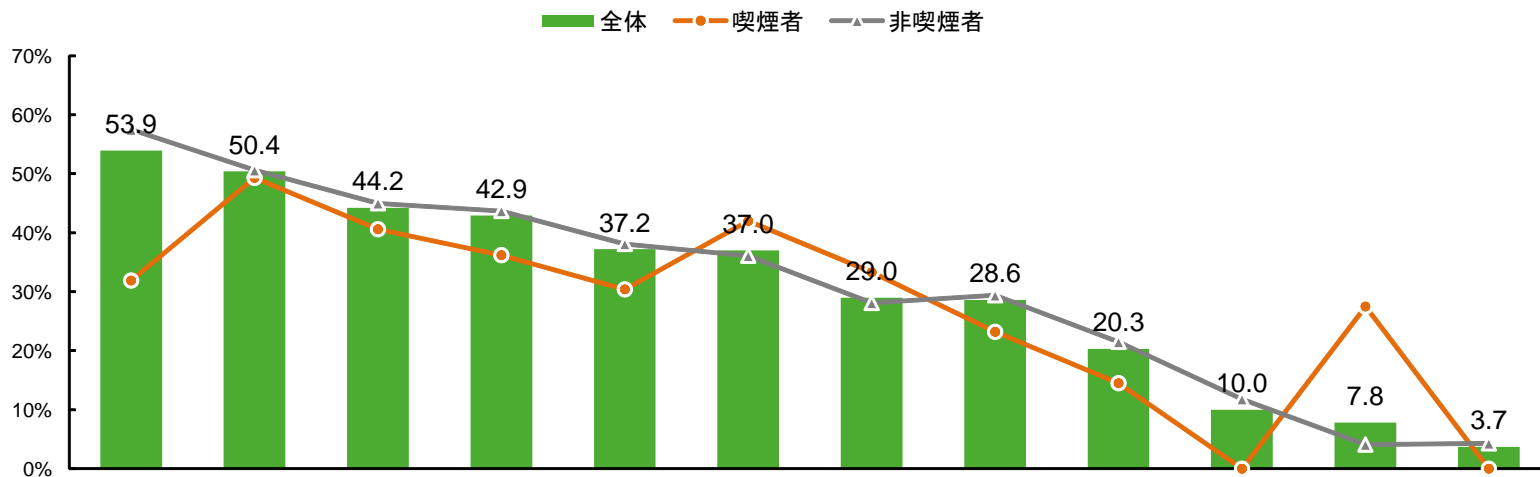
Q (全員) 日本の喫煙環境に関して、改善してほしい内容としてあてはまるものをいくつでもお選びください。



日本の不満点

- 「英語・多言語対応の案内板少ない」「街中のごみ箱が少ない」「飲食店のメニューが英語・多言語対応していない」「Wi-Fiが使えるところが少ない」が上位に挙がった。喫煙者の「喫煙できるエリアが少ない」は28%だが、全体では他に比べて最も低い。
- 出身国別にみると、「クレジットカードが使えないところが多い」は欧米・オセアニア計でアジア・南米・その他より高い。

Q（全員） 以下のうち、日本において改善して欲しい不満点であればまるものをいくつでもお選びください。



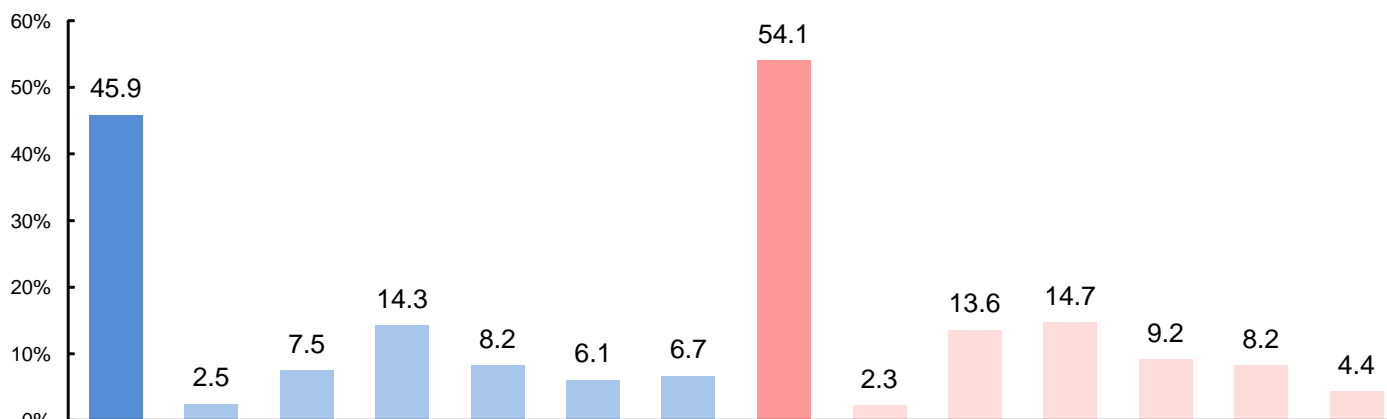
		英語・多言語対応の案内板が少ない	街中のごみ箱が少ない	飲食店のメニューが英語・多言語対応していない	Wi-Fiが使えるところが少ない	外国人対応の観光案内所が少ない	英語が通じない	物価が高い	公共交通機関がわかりにくい	クレジットカードが使えないところが多い	禁煙のエリアが少ない	喫煙できるエリアが少ない	その他
全体 (462)		53.9	50.4	44.2	42.9	37.2	37.0	29.0	28.6	20.3	10.0	7.8	3.7
喫煙状況	喫煙者 (69)	31.9	49.3	40.6	36.2	30.4	42.0	33.3	23.2	14.5	-	27.5	-
	非喫煙者 (391)	57.5	50.6	45.0	43.7	38.1	36.1	28.1	29.4	21.5	11.8	4.1	4.3
性別	男性計 (207)	54.6	52.2	49.8	45.4	36.2	40.6	31.4	26.1	21.7	12.1	8.7	5.3
	女性計 (250)	53.6	49.2	39.6	40.4	37.6	34.4	27.6	31.2	19.2	8.0	7.2	2.4
出身国	欧米・オセアニア計 (182)	56.0	58.2	36.3	35.7	31.9	32.4	21.4	25.3	31.3	11.5	7.1	4.9
	アジア・南米・その他 (276)	52.2	44.9	48.9	48.2	40.6	40.2	34.4	31.2	13.4	8.7	8.3	2.9
	中国 (84)	21.4	32.1	27.4	33.3	36.9	38.1	33.3	17.9	3.6	1.2	8.3	-

※全体と比較して +20pt.以上 +10pt.以上 -20pt.以下 -10pt.以下 (サンプル数30未満は除く)

(資料) 対象者プロフィール

性・年代

- 今回の外国人対象者の性別構成比は、男性46：女性54。年代をみると、男女ともに30代が最も多い。
- 喫煙者は、男性:女性 = 7:3の割合。

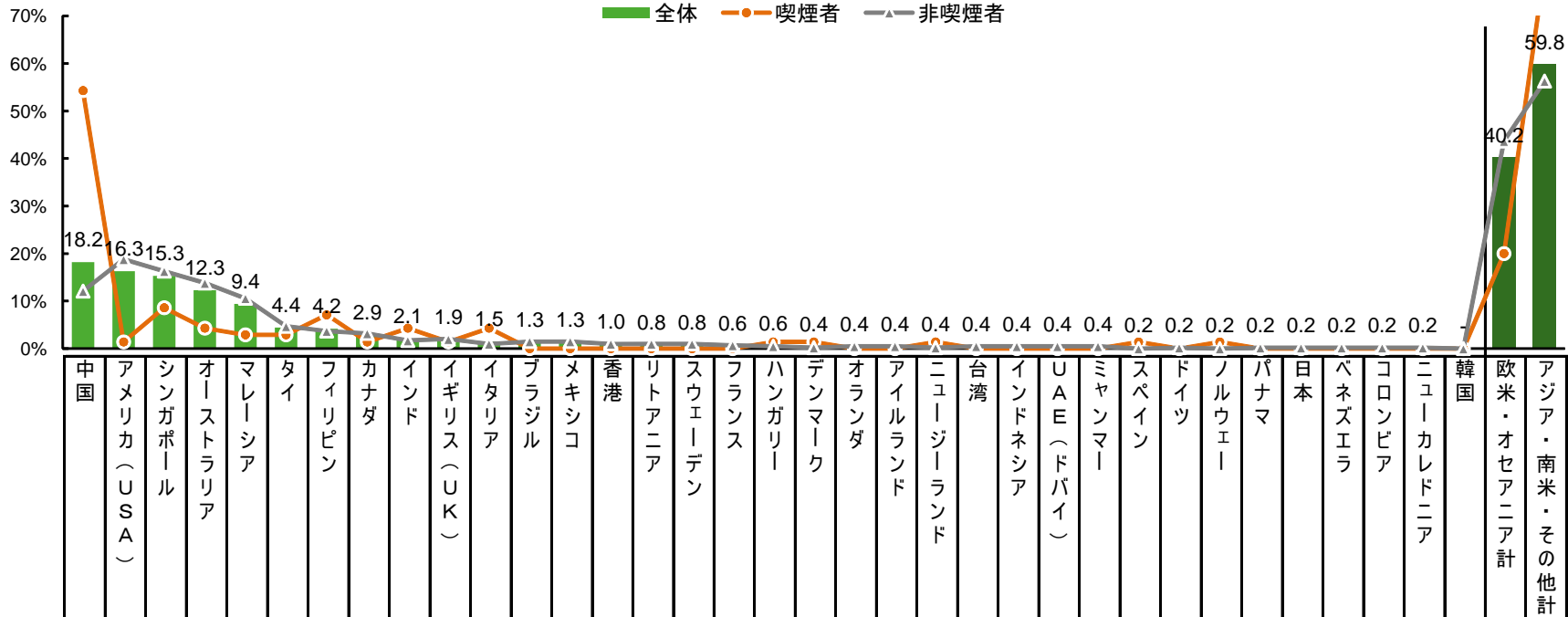


		男性計	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代以上	女性計	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代以上
全体 (477)		45.9	2.5	7.5	14.3	8.2	6.1	6.7	54.1	2.3	13.6	14.7	9.2	8.2	4.4
喫煙状況	喫煙者 (72)	70.8	-	16.7	31.9	9.7	8.3	2.8	29.2	-	12.5	9.7	2.8	4.2	-
	非喫煙者 (402)	41.3	3.0	6.0	11.2	7.7	5.7	7.5	58.7	2.7	13.9	15.7	10.2	9.0	5.2
出身国	欧米・オセアニア計 (191)	47.1	1.6	7.3	9.4	7.9	7.3	13.1	52.9	1.6	12.0	11.5	7.3	9.4	8.4
	アジア・南米・その他 (283)	45.2	3.2	7.8	17.7	8.1	5.3	2.5	54.8	2.8	14.8	16.3	10.6	7.4	1.8
	中国 (85)	45.9	-	8.2	25.9	3.5	7.1	-	54.1	1.2	32.9	14.1	1.2	4.7	-

※全体と比較して ■ +20pt.以上 ■ +10pt.以上 ■ -20pt.以下 ■ -10pt.以下 (サンプル数30未満は除く)

出身国

- 出身国をみると、「中国」18%、「アメリカ」16%、「シンガポール」15%、「オーストラリア」12%、「マレーシア」9%が上位5カ国。喫煙者が最も多いのは、「中国」。「シンガポール」「フィリピン」もやや多く、アジアで多め。
- 「欧米・オセアニア計（先進国）」：「アジア・南米・その他」の割合は、4:6。

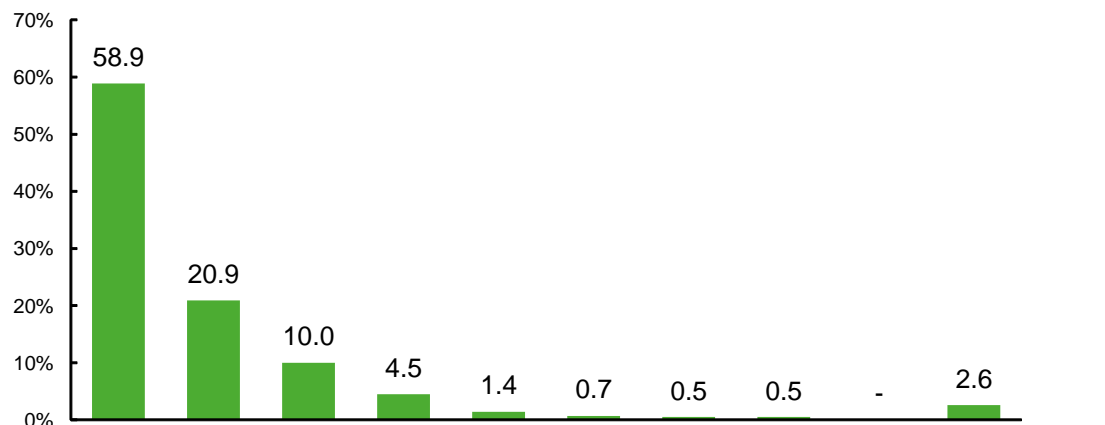


出身国		全体	喫煙者	非喫煙者
全体 (478)		18.2	16.3	15.3
喫煙状況	喫煙者 (70)	54.3	1.4	8.6
	非喫煙者 (405)	12.1	18.8	16.3
出身国	欧米・オセアニア計 (192)	-	40.6	30.7
	アジア・南米・その他 (286)	30.4	-	25.5
	中国 (87)	100.0	-	-

※全体と比較して +20pt.以上 +10pt.以上 -20pt.以下 -10pt.以下 (サンプル数30未満は除く)

訪日回数（今回を含めて）

- 「1回」が6割を占める。「2回」が2割。「3回」が1割。平均は、2.2回程度。
- 出身国別にみると、欧米・オセアニア計で「1回」が多いが、平均回数では、アジア・南米・その他とほとんど差はみられない。



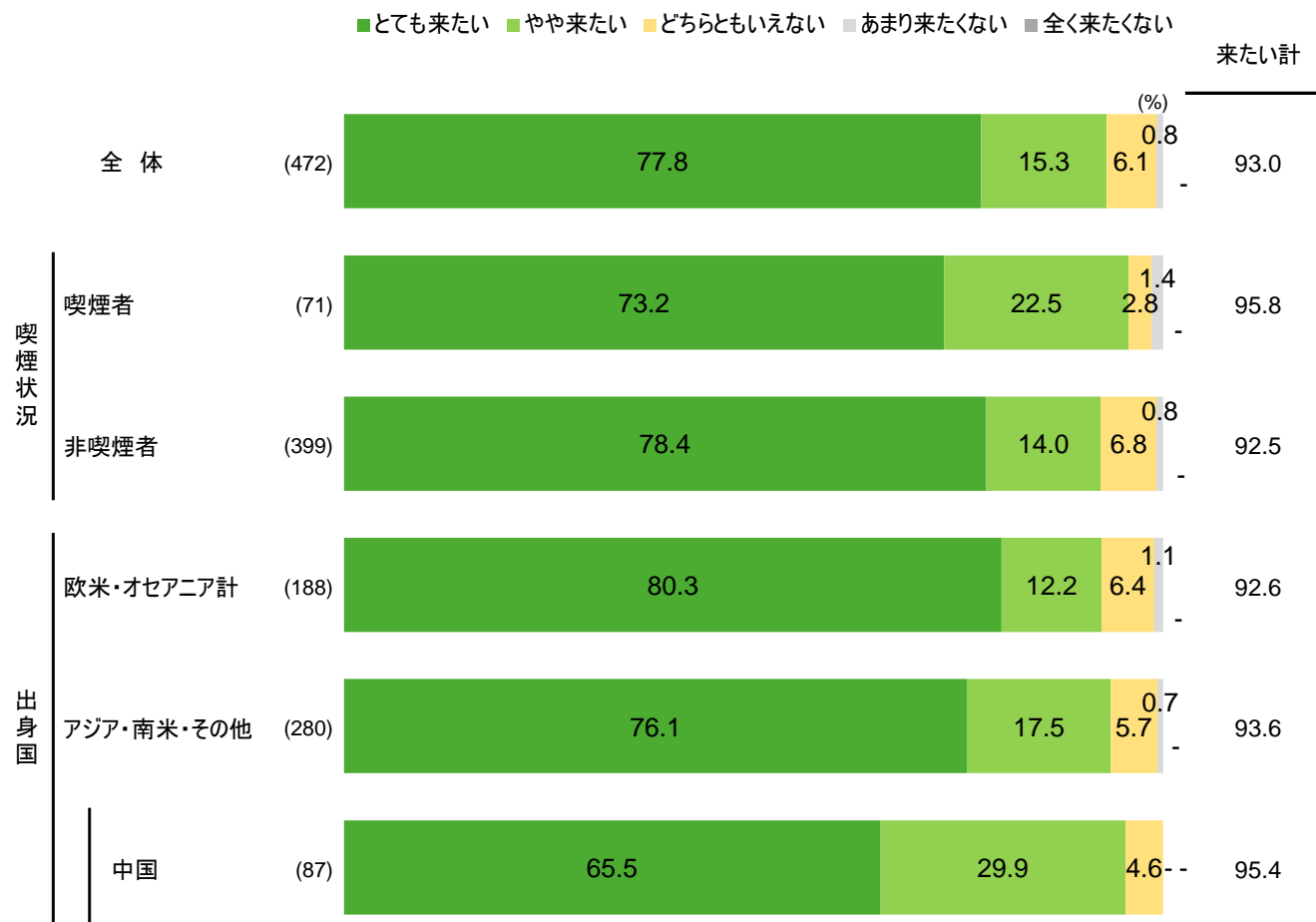
		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回以上	(平均値)
全体 (421)		58.9	20.9	10.0	4.5	1.4	0.7	0.5	0.5	-	2.6	2.17
喫煙状況	喫煙者 (63)	58.7	22.2	11.1	4.8	-	-	-	1.6	-	1.6	1.84
	非喫煙者 (358)	58.9	20.7	9.8	4.5	1.7	0.8	0.6	0.3	-	2.8	2.23
出身国	欧米・オセアニア計 (173)	68.8	16.2	6.9	2.3	1.2	0.6	0.6	0.6	-	2.9	2.20
	アジア・南米・その他 (245)	52.2	24.1	12.2	5.7	1.6	0.8	0.4	0.4	-	2.4	2.15
	中国 (79)	46.8	25.3	16.5	6.3	-	2.5	-	1.3	-	1.3	2.10

※全体と比較して +20pt.以上 +10pt.以上 -20pt.以下 -10pt.以下 (サンプル数30未満は除く)

再訪日意向

- 再訪日意向（『来た計』）は、全体で93%と高い。
- 喫・非喫別、出身国別にみても、大きな差はみられず、9割以上の意向率。

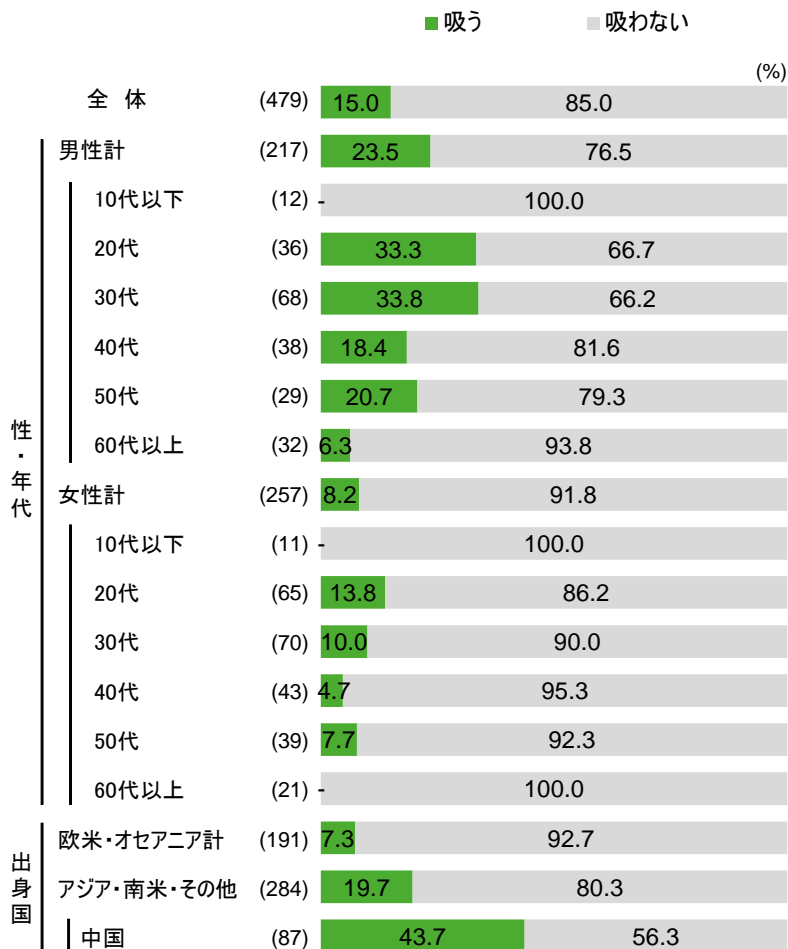
Q（全員）再度、日本に来たいと思いますか。



喫煙状況

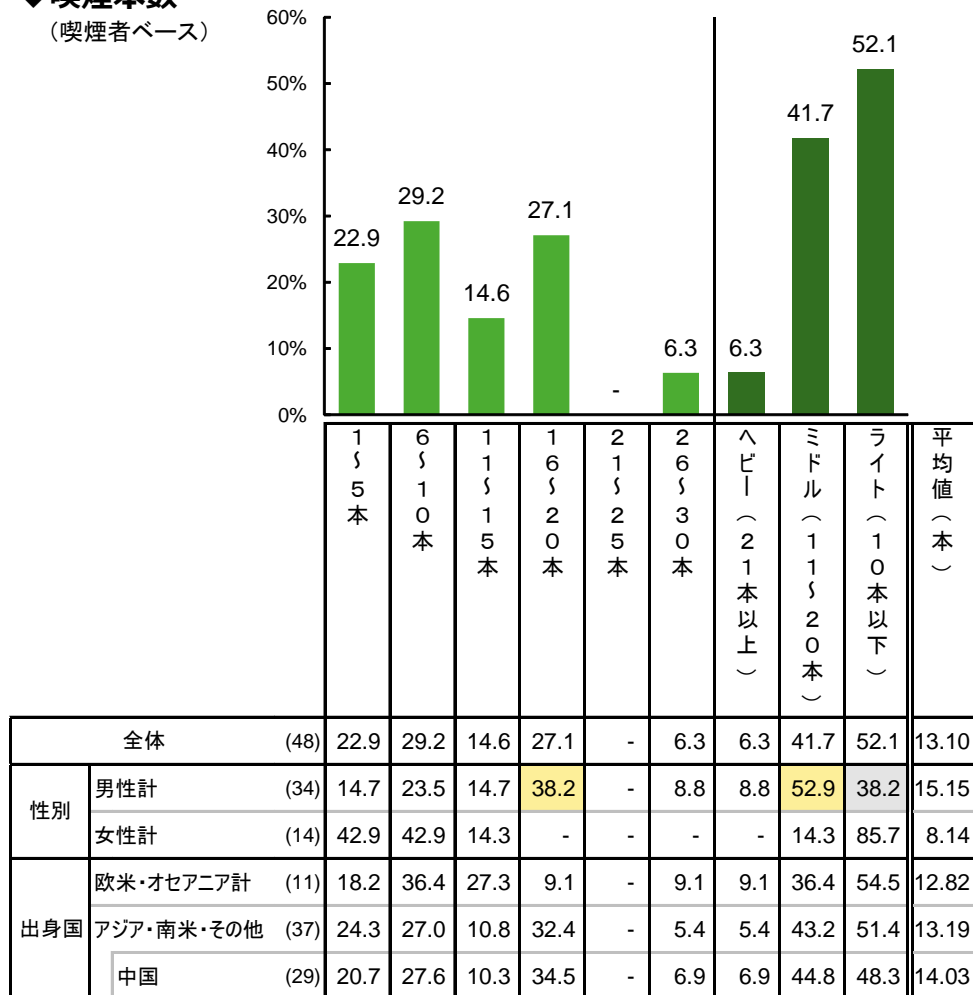
- 全体での喫煙率は、1割強。男性で24%、女性で8%。ともに20代・30代が高い。
- 出身国別にみると、欧米・オセアニア計で7%、アジア・南米・その他で20%。中でも中国は44%と突出して喫煙率は高くなっている。

◆ 喫煙状況



◆ 喫煙本数

(喫煙者ベース)



※全体と比較して +20pt.以上 +10pt.以上 -20pt.以下 -10pt.以下 (サンプル数30未満は除く)